日本企業はSBT認定・コミット数で世界をリード



日本企業のSBT認定・コミット数は2024年8月に英国を超え、世界1位に。

SBT認定取得・コミット数 上位10カ国(2025年11月現在)



日経平均構成企業の半数以上が認定・コミット



プライム上場企業の約18%が認定コミット。日経225は52%、技術や資本財セクターがリード。

日経平均構成銘柄企業

SBT認定取得・コミット企業数

2025年10月3日現在





技術セクター 76.2% (48社/63社)



金融セクター 5.0% (1社/20社)



消費セクター 48.7% (19社/39社)



素材セクター 41.7% (20社/48社)



資本財その他 68.6% (24社/35社)



運輸公共 25.0% (5社/20社)

SBT認定取得のインパクト



91%の企業がSBT認定取得によりポジティブなインパクトを感じている。



9割以上の企業 (91%) が、SBTが自社に良い影響を与えたと回答。 悪影響があったと回答した企業はなし。

80%の企業が、SBT設定により、企業戦略と長期的ビジョンの一貫性が向上を報告。

71%の企業が、将来的な規制リスクへの対応力の強化を報告。

2025年9月~10月にかけてSBTiが171社を対象に調査

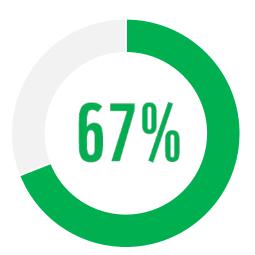
SBT認定取得のインパクト



投資家との関係に 好影響 サプライヤーとして 取引先からよい評価 消費者・ブランドイ メージに好影響



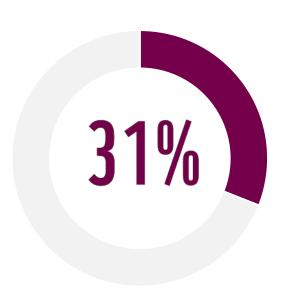




SBT認定取得のインパクト



31%の企業がオペレーションコストに関して悪影響を報告



SBTに関連する有意な負の影響が報告されたのは、オペレーションコストについてであり、31%の企業が悪影響を報告。

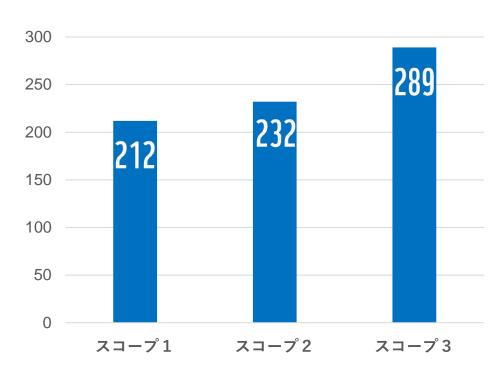
企業の負担を低減し、脱炭素に効果的かつ効率的に取り組むための 仕組みが必要。

2025年9月~10月にかけてSBTiが171社を対象に調査

事前アンケート結果



スコープ3の改定内容に関心が集まるが、スコープ1,2の関心も高い。



その他で挙げられたトピック

- ・カーボンクレジットや環境属性証書 (EACs)の利用可否
- ・GHGプロトコルとの関係性
- 除去
- BVCM
- ・2035年以降の継続排出への責任について
- ・削減貢献量

アンケートにご協力をお願いします

本アンケートはWWFジャパンが実施するもので、SBTiが実施する正式なパブリックコンサルテーションの一環ではありませんが、アンケートの結果は日本の企業やステークホルダーの声としてSBTiに共有されます。ぜひ、積極的に回答をよろしくお願いいたします。

SBTiのパブリックコンサルテーションやパイロットテストにもぜひ積極的な日本企業の参加を期待しています。



